

年頭のご挨拶

明けましておめでとうございます。

旧年中は、大変お世話になりました。本年も、よろしくお願い申し上げます。

19年の国内経済は緩やかながらも成長が続きました。懸念されていた米中の貿易摩擦、半導体産業の低迷、消費税率の引き上げなどの影響も大きなマイナスには至りませんでした。国内企業の業績も一部で下方トレンドがみられますが、多くの企業で良好な水準が維持されています。

このような企業業績に加え、低金利が続いたこともあり、19年の社債発行額は過去最高を記録しました。発行体、投資家のESGに対する関心が一層高まり、グリーンボンドにとどまらず、ソーシャルボンド、サステナビリティボンドの発行が活発化したこともその一因であります。また、事業会社による劣後債の発行額も過去最高を更新しています。

JCRでは、これらの資金調達にあたり、信用格付を付与するとともに、サステナブル・ファイナンス評価やハイブリッド商品の資本性評価を実施してまいりました。JCRが蓄積してきた専門性を活かし、金融市場に貢献できたものと自負しております。また、アジア格付機関連合(ACRAA)の会長に再選されるなど、グローバル化への取り組みにも引き続き注力しています。

20年は日本でのオリンピック・パラリンピック開催、米国大統領選挙など大きなイベントが予定されており、世界全体、日本の経済は低位ながらも成長が続くと見込まれています。JCRはこれまでの活動を強化し、格付品質の維持・向上はもちろん、市場の様々なニーズに的確に対応するよう決意を新たにしております。これらを通じ、一層信頼・利用される格付会社を目指し、市場の皆様のお役にたつよう努めてまいります。

本年も、JCRをよろしくお願い申し上げます。

令和2年1月6日

株式会社日本格付研究所 代表取締役社長

高木 祥吉